

「教えてくれたひと」



笹川 千尋さん

福井市「さちふる」代表。坂井市、越前町、美浜町のふるさと納税をサポートするほか、Instagramで申請方法や返礼品を紹介する @fukui\_sachifull

住民税が実際に控除されたかどうかは、翌年の住民税通知書を確認しないとわからない。左下にある備考欄に控除額が記載されるので、忘れないでチェックしよう。

ふるさと納税では、住民税として居住市町に納めるはずのお金を、自分のふるさとや応援したい自治体に寄付することができる。返礼品がもらえるのはもちろん、寄付金の使い道も公開されていて、自分が良いと思った使い方を選んで寄付できるのも特長だ。税金の使い道を自分で決められるというのは貴重で、リピーターも多い。

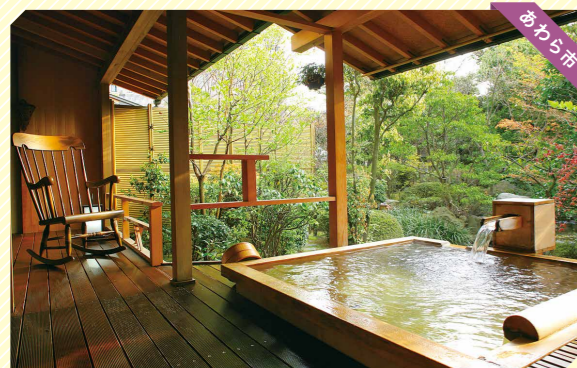
返礼品の種類はグルメをはじめ、伝統工芸品や日用品、体験チケットなどさまざま。寄付を通して地域の魅力を新たに発見できるのもポイントのひとつ。福井では海産物や米、スイーツのほか、イベントで使える感謝券などユニークな返礼品も注目を集めている。また、新規事業を支援するクラウドファンディング型の寄付などもある。

都市部と地方で住民税による収入を均一化するために作られた「ふるさと納税」。好きな自治体に寄付することで翌年の住民税が控除されるだけでなく、返礼品がもらえるため活用する人は年々増えている。「実はこの制度は、福井県が発祥と言われているんですよ」と「さちふる」の代表・笹川さん。福井県では約3万2千人がふるさと納税を利用し、その数は今後も増えていくだろうと話す。

お得に寄付して地域の魅力も発見。

## ふるさと納税のススメ

特産品がもらえて、住民税の控除も受けられる。ふるさと納税の魅力と楽しみ方を教えてもらいました。



あわら市

あわら温泉宿泊利用券 6,000円分 寄付額 20,000円

市内にある15の旅館協同組合加盟の温泉宿で利用できる宿泊券。使用期限が1年間あり、好きなタイミングで使える。



### 福井の気になる返礼品

グルメから工芸品、宿泊券まで。さまざまな返礼品を紹介します。



越前市

越前赤玉子 40個 寄付額 5,000円

餌にこだわって育てた越前赤玉子は、黄身が大きく臭みが少ないのが特徴。卵の価格高騰に伴いピーターも多い。



坂井市

三国港のとれとれ甘えび(冷凍) 約1kg 寄付額 10,000円

とれたての甘えびをその日に冷凍してお届け。とろける食感と甘味で、刺身や丼、唐揚げなどいろんな楽しみ方ができる。



越前町

風来窯 雪イッチン紋 お皿とカップ 寄付額 19,000円

ティータイムにぴったりな、越前焼のうつわのセット。「くつろぎのうつわ」シリーズとして、国成窯や豊彩窯などもあり。



勝山市

羽二重くるみ 10個入り 寄付額 5,000円

上品な甘さの羽二重餅とくるみをシュー生地で作った勝山の銘菓。贈答品としても人気。



福井市

NATURE TONES リトルブレイク スタンド Lサイズ 寄付額 41,000円

折りたたみコンパクトなキャンプテーブル。フロントハンガーや網棚には小物も収納できる。



敦賀市

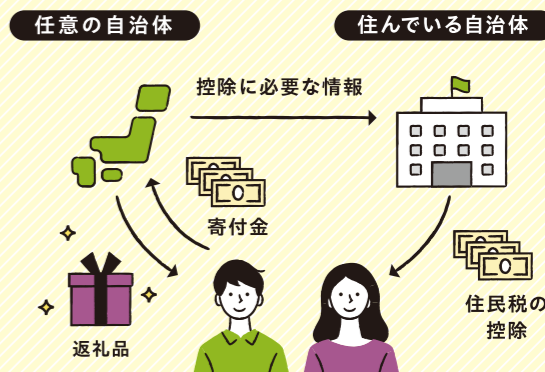
カフェインレス 自家焙煎 加糖 カフェオレのもと 3本 寄付額 10,000円

牛乳を注ぐだけで本格カフェオレが楽しめるカフェオレベース。無添加素材で安心して飲める。

## 意外とカンタン！ ふるさと納税にチャレンジ

お得と言われる理由は「返礼品」。寄付金の使い道を選べるのも嬉しい。

ふるさと納税とは自分の好きな自治体に寄付をすることで、居住市町への住民税が控除される仕組みのこと。寄付金としてほぼ同額を前払いしているので支払額自体は変わらないが、寄付額に対して30%相当の金額の特産品がお礼として届くことからお得であると注目されている。控除額を除くと自己負担額は約2,000円。返礼品がない自治体もあるが、ほとんどの地域が寄付金の使い道を公表しており、税金の使い道を自分で選べるという観点からも高い評価を得ている。



都道府県ではなく市町単位で寄付できる。例えば福井市に居住している人なら、ほかの県内市町にも寄付が可能。寄付先は返礼品や、寄付金の用途を見て決める人が多い

### 控除申請のやり方

#### ワンストップ特例制度

寄付した翌年の1/10まで

寄付先が5自治体以下であればできる。寄付した自治体から届く申請書にマイナンバーカードの写しを貼って返送する。申請書に記載されている住所が間違っていないかチェックを。最近ではアプリで申請できるサービスも登場



#### 確定申告

寄付した翌年の3/15まで

税務署に寄附金受領証明書と確定申告書類を提出する。寄付先の数に限りがなく、期限がワンストップ特例に比べて長いので、申請を忘れてしまった人も利用できる。寄付金は住民税控除と所得税還付で還元される



### ふるさと納税の手順

#### ① まずは控除上限を知ろう！

控除限度額は年収から割り出される。計算が複雑なので、ふるさと納税サイトのシミュレーターを使うと◎。なるべく詳細に入力し、算出された額より少なめの寄付を心がけて。厳密な上限額を知りたい人は税理士に相談を

例 共働き夫婦 > 夫の年収 400万円 妻の年収 300万円

2人合わせて7万3千円が目安

必要項目を入力してシミュレーションしよう



ふるさと納税ガイド

#### ③ 申請する

寄付先の数や確定申告をするかどうかで申請方法が変わる。寄付先の自治体に申請書を提出する「ワンストップ特例制度」と税務署に書類を提出する「確定申告」の2種ある。詳しくは左側をチェック

#### ② WEBで寄付する

自分の居住する市町以外の自治体に寄付をすると返礼品がもらえる。寄付に使うサイトは「さとふる」や「楽天ふるさと納税」などさまざまなが、普段使っているポイントが貯まるものを選ぶのがおすすめ